



安全・安心な学校に向けて

副校長 神田 佳明

10連休（本校は9連休）があり、元号が替わり、と例年にない流れの中、運動会が終了しました。当日は非常に暑く、熱中症が懸念されましたが、何とか無事に終了できました。保護者の皆様におかれましても、運動会までそして当日とたくさんの協力をいただき、ありがとうございました。

昨年夏も酷暑であり、保護者の皆様の登下校指導において、体調第一に、とお伝えさせていただきましたが、今回の運動会では水分補給についてもこまめにするよう推奨しました。

先週、川崎市で大きな事件が起こりました。意図的・計画的に引き起こしたと思われる突然の出来事であり、これに対して未然に防ぎきれたものであったのか、本校でこのようなことに遭遇しないようにするにはどうすべきか、などと考えると、すぐには答えの見つからない、非常に恐ろしい事件であります。亡くなられた方のご冥福とけがをされた子どもたちや関係者の方々の一日も早い快復をお祈り申し上げます。

本校の重点・努力点の一つに「安全で安心して生活できる教育環境づくり」があります。その達成目標として「児童生徒が安全に安心して持てる力を発揮できるよう、人的・物的な教育環境を整備し、充実を図る。」としています。

人的環境としては、いじめや体罰などのない安心を提供する学校づくりであるといえます。物的な教育環境としては、教室をはじめとする施設・設備による怪我の防止など安全な学校づくりと言えます。

今年度が創立47年目となる本校舎の老朽化に対しては大学を通し、国へ改修の要望を挙げていますが、全体の優先度などから足踏みの状況が続いています。そのため、部分的な修理を順次行っていますが、このたび、開け閉めが難しい状況が続いていた高等部側の校舎の扉の交換を行いました。（現在の規格とは異なる扉のため、特注品ではあります。）

このように安全な教育環境づくりには多額のお金と時間を要するものもありますが、日常の教育環境整備、定期的な安全点検の実施、校内での研修など、できることから日々、意識を高くもってこれからも進めてまいります。



先日一斉メールで流した不審者に関しては、おかげをもちまして早急に解決されました。メールでもお伝えした通り、登下校時に関しても「危険なものから距離をおき、安全を確保する」「情報を伝達する」ということがまず大切であることと思われますので、保護者の皆様におかれましても引き続き意識いただき、気になる点につきましては学校の方に遠慮なくお知らせいただければと思います。

教職員の動向

* 中学部3年担任の今井あゆり教諭がお子さん出産のため、6月4日よりお休みに入りました。それに伴い、中学部で4月より勤務してきた長田太陽先生が担任として勤務します。よろしくお願ひいたします。